

CSR 活動事例集

2022



一般社団法人 関西電気管理技術者協会

はじめに

一般社団法人関西電気管理技術者協会は創立以来、「誠意・親切・実践」を信条として協会会員と共に歩んでまいりました。また当協会では、平成30年度においてCSR活動方針を定め、協会としての社会的責任（社会貢献等）に取り組んでいるところです。

2020年4月以来、「CSR活動レポート 2020」及び「CSR活動事例集 2021」を公表したところです。これらに引き続き、この度「CSR活動事例集 2022」をまとめました。

今回のレポートでは、事例集として、支部・地区単位及び会員個人が取り組んでいるCSR活動についてご紹介させていただきます。

昨今におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により、思うように活発な活動を実施しづらい面もありました。今後におきましても、社会情勢が不透明ではありますが、会員一同、研鑽して社会貢献に尽力いたします。

2022年3月 総務委員会

紹介事例項目

支部・地区単位での取り組み

- 世界文化遺産・重要文化財 醍醐寺様の低圧配線特別点検（京都支部）
- 神戸村野工業高等学校インターンシップに協力（神戸支部）
- フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業の業務に係る特別教育（滋賀支部）
- 安全安心な電気保安の確立に向けた討論（姫路支部）
- 電気安全月間活動（大阪南支部、奈良支部）
- コンプライアンス（姫路支部、大阪北支部）
- 健康維持（各支部）

私のCSR（会員個人の取り組み）

- コロナワクチン接種への補助活動（滋賀支部会員）
- 発電機を使用しない蓄電池等の利用（大阪南支部会員）
- 和歌山支部会員のCSR活動（個人の取り組み）
 - 小学校校内外灯清掃
 - 大阪地裁/高裁所属の電気専門員として専門分野の解説・助言活動
 - 少年少女発明クラブ指導員としての活動
 - UNHCR 支援活動のための寄付
 - 節電商法機器の設置助言
- 「レイキヒーリング」で社会貢献（奈良支部会員）

支部・地区単位での取り組み

世界文化遺産・重要文化財

醍醐寺様の低圧配線特別点検（京都支部）

一昨年、フランスのノートルダム寺院や首里城の火災により世界文化遺産・重要文化財が相次いで消失するという取り返しのつかない火災事故が発生しました。

関西電気管理技術者協会京都支部では、前述の事例に鑑みCSR活動の一環として、世界文化遺産・重要文化財である醍醐寺様の低圧配線特別点検を実施しました。

令和3年7月23日、学校は夏休みに入りましたが、新型コロナウイルスの影響で境内はひっそりとした佇まいです。大型台風から2年が経ち、設備被害は修復されましたが、広範囲にわたる倒木の痕跡が残っており、強い陽射しを受けながらの特別点検となりました。特別点検は、阪協京都支部長、由良広報委員長、谷井電設有限会社様に協力いただき、三宝院、金堂、五重塔、修正殿、理性院、寺務所、研修棟など広範囲に配置された分電盤を確認しました。



全ての回路には漏電遮断器が設置されており、設備面では万全の漏電対策が実施されています。特別点検では「サーモカメラによる端子および漏電遮断器の過熱状況確認」、「端子変色の有無確認」、「2極法による接地抵抗測定」を実施し健全性を確認できました。

神戸村野工業高等学校インターンシップに協力 (神戸支部)

日時・場所 令和3年7月12日(月)～令和3年7月14日(水)

教育会館・各現場

受講者 神戸村野工業高等学校 電気科2年生 4名

実習内容 1.管理技術者協会の概要について。
2.管理技術者になるための条件と社会的使命について
3.月次点検実習。
4.年次点検実習。
5.非常用発電機の運転と保守点検実習。



感謝の手紙を紹介します(原文)

貴社におかれましてはますますのご盛栄のこととお慶び申し上げます。
私はこの三日間での貴重なことを経験させていただいてありがとうございました。
将来は高圧電気関係の仕事につきたいなと思いました。

(一部省略)

今後の学校の勉強に生かしていきたいと思っています。

貴重な時間を割いてご指導くださり誠にありがとうございました。

貴社のご発展とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

フルハーネス型墜落制止用器具を用いて行う作業 の業務に係る特別教育 (滋賀支部)

開催日時 令和3年12月7日
会場 大津市勤労者福祉センター

滋賀支部では、12月7日大津市勤労者福祉センターを会場として、支部会員希望者の参加でフルハーネス型墜落制止用器具の特別教育が開催されました。

特別教育の内容は、作業に関する知識から、関係法令・実技教育まで6時間の講習になりました。講師として、支部会員でフルハーネス型墜落制止用具の講習を終えている副支部長や会員を迎えての講義となりました。

講師として参加してくれた支部会員は、早くからフルハーネス及びランヤードの必要性を考え講習会を受講し、建設作業用のフルハーネスと関電使用のフルハーネスの違いやランヤードの使い方について、協会員が使用する場合について、わかりやすい説明がされました。



墜落防止用器具の使用方法については、藤井電工から講師を迎え、フルハーネスの種類や装着の説明があり、その後、受講生全員が、装着の練習や平行移動のランヤードのつかいかたについて学びました。



安全安心な電気保安の確立に向けた討論

(姫路支部)

宍粟地区では協会 CSR 活動方針の「安全安心な電気保安の確立に努めます。」という基本的なところで討議をすることとなりました。

日常業務において、心掛けていますが、話合うことで、過去の職業環境の違いにより、気を付けていることの違いや、新たな「なるほど!!」がありました。



安全というものに完結という言葉はありません。

お客様の財産を守る為、自分自身の身体を守る為にも必要不可欠な事であり、そこを踏まえて今回の意見発表をお聞きしていると、皆さんの安全意識には、学習と経験が生かされているように思いました。

その一つに、作業手順があり、弱電機器が普及している現在に於いて、停電、復電作業時の開閉サージによる故障などが多くなり、トラブル回避は大変難しいものとなってきております。



そういった中、お客様の電気設備を良い状態で長く使って頂くためにも、現状に合った技術の向上と、安全作業に心掛け、信頼できる保安管理を、全員が目ざしていきたいと思っております。

電気安全月間活動

(大阪南支部、奈良支部)

【大阪南支部】

大阪南支部には浪速、東大阪、堺、岸和田、羽曳野の5地区の組織があり、毎年8月「電気使用安全月間」において、大阪電気工事組合様、関西電力様他と合同で街頭において一般市民の皆様に対し電気使用の安全等について啓発活動を行っています。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止よりその活動は2地区のみとなり、その活動報告をさせていただきます。

1. 岸和田地区 <積極的な地域活動への参加>

コロナ禍の中でも積極的に地域活動に参加することは、協会にとって企業価値や信頼性を高めるために大切と考えております。

岸和田地区では、今年は8月4日(水)南海岸和田駅街頭で内輪・タオル・ティッシュ等を高齢者から子供たちに「コロナに気を付けて」ひと言声を掛け、皆様の健康を願いながら笑顔をお届けいたしました。



2. 羽曳野地区

本年度の羽曳野地区の電気使用安全啓発活動は、8月6日(金)の午前中に、LIC 羽曳野(生活文化情報センター)を拠点として実施されました。主催は大電工羽曳野支部で、



関西電力、関西電気管理技術者協会が参加して実施されました。新型コロナウイルス感染症が拡大している中でもあり、例年実施していた公共施設等の絶縁診断、戸別訪問は自粛して、LIC 羽曳野周辺において、パンフレット、タオル等を配布し、電気使用安全のPRを行いました。

【奈良支部】

例年電気工事工業組合様と共に近鉄奈良駅や JR 奈良駅周辺で活動してきましたが、コロナ禍の影響で密を避けるために、当協会奈良支部単独で支部事務所がある田原本駅周辺で実施することにしました。

駅を利用される方々や、商店街の皆様には団扇や除菌シートを配布し、電気安全を安全に使用して戴くためのアピール活動をさせていただきました。

最初は、コロナ禍でも有りなかなかなか受け取ってもらえなかったグッズも、笑顔でアピールすることにより、たくさんの方に受け取ってもらえました。

また、トンゴとゴミ袋を両手に駅周辺及び周辺住宅街の清掃活動も同時に実施させていただきました。

8月初旬の暑い中、マスクをつけての活動は大変でしたが、水分補給をしながら無事に終わられてよかったです。

日時 8月2日 9:30~11:00

参加者 奈良支部役職者一同

場所 近鉄田原本駅周辺



コンプライアンス（姫路支部、大阪北支部）

【姫路支部】

今回、姫路支部に於いて、我々電気管理に携わる者の、「コンプライアンス」を再認識、再確認するために行われました。



内容としましては、

1. 安心、安全の足元再確認しながら、現状の変化に適切な対応に心掛ける。
2. 協会員としての自覚と技術の向上、助け合いにより、お客さんの信頼獲得に努力する。
3. 保安規程、倫理規定の遵守を基に、業務遂行に努める。
4. 良好な心身を保つため、健康診断等により、自己管理に努める。
5. お金をもらって仕事をしているプロ集団の認識を持つ事が必要。
6. 思いを通すだけでなく、常に自分自身を客観的に見ている必要がある。

というような発表がありました。

普段、気を付けている内容ではありませんが、発表という形の再確認方法は、活字に目を通すだけではないものがあり、良かったと思います。又、自分の見直しが出来たなら幸いです。

コロナで、働き方が変わろうとしている今、技術商売とは言え、お客様相手のサービス業の一面もあるこの仕事、以上のことを踏まえ、お客様の信頼と信用を得ることに精進していきたいと思えます。



【大阪北支部】

コンプライアンス、事故防止研修会の実施

令和3年10月25日 大阪北支部事務所主催 web会議

119名参加 参加率85.6%

- ① 「コンプライアンス研修会の実施」 法制委員会
- ② 「高圧受電設備事故、波及事故防止について」 技術委員会

健康維持（各支部）

【滋賀支部】

健康づくり研修

開催日時：令和3年11月19日

会場：大津市勤労者福祉センター

講師：近江八幡市社会福祉協議会

地域福祉課：重野弘樹

私たちは、自営業として地域の事業場などの自家用電気工作物の保安管理をさせて頂いています。

それゆえ毎回元気でお客様のところへ伺い安全安心な電気を使用して頂く様に設備の内的な面と外的な面の両方を点検確認や予想し安心を届けなければなりません。それを行うには、心技体を健康に保ち継続しなければなりません。

日常生活が重要となりますので、今回健康研修を実施いたしました。

住み慣れた地域で、いつまでも生き生きと

～つながりのある「私たち」の地域へ～

健康で長生きするために必要なこと

つながり

人間関係・社会性・地域の支えあい



コロナ禍で、いろんな活動が
できない
でも、どうしてつながろう？

元気に活動しているみなさんの声

- ・「知っている」と「かかっている」のは違う。
- ・近所の人との会話がふえた。
- ・メンバーの活動を見て、少しずつ助け合いが広がってきた。
- ・いつもは、忙しく無理だけど、自分にできることで協力したいと若い人が申し出てくれた。
- ・一人では気づかなかったことが、情報が入るようになった。
- ・将来の自分のための活動でもある。



今日いくところがある。
今日用事がある。
仲間がいる。

脳の活性化で いつまでも元気で生き活きと

脳 活 性 化 の 五 本 柱

- ①人と話をする。
- ②身体を動かす。
- ③脳に適度な刺激を与える。
- ④色々な事に興味を持つ。
- ⑤電気管理技術者として生き活きと働く



【大阪北支部】

1. 健康保持のための研修会の実施

令和3年8月25日 「エル・おおさか南ホール」 出席者 web 参加含む 137 名
健康講話「コロナウイルスを想定した新しい生活習慣」
大阪労災病院治療就労両立支援センター 保健師 井谷 美幸 先生 講話

2. 健康保持のための健康診断の実施

令和3年8月31日 現在 対象者 139 人 受診者 135 人 受診率 97%

【健康維持のための環境整備】

安全・安心な電気保安確立のため、CSR 活動の一環として、会員の健康管理推進を実施しているところです。

令和3年度 健康管理の取り組み状況

教育
(今日行く所がある)
教養
(今日用事がある)

挑戦
持続

健康保持増進活動

【各支部の健康講和実施状況】

- (1) 大阪南支部；10月20日 テマ「体のつくりからみた理にかなった使い方」
講師 田中整形クリニック 田中先生
- (2) 大阪北支部；8月25日 テマ「コロナウイルスを想定した新しい生活習慣」
講師 大阪労災病院治療就労両立支援センター 保健師 井谷先生
- (3) 京都支部；12月16日 テマ「マインドフルネス(心)健康講座」 WEB開催
講師 マインドフルネス研究所 西山先生
- (4) 滋賀支部；11月19日 テマ「住み慣れた地域で、いつまでも生き生きと」
講師 近江八幡市社会福祉協議会 地域福祉課 重野様



- (5) 和歌山支部；9月21日 テマ「腰痛の防止」
講師 副支部長 坂本様
- (6) 奈良支部；2月24日 テマ「筋活で伸ばす健康寿命」 WEB開催
講師 順天堂大学 町田先生 (YouTube公開講義)

< 他支部は、コロナの影響で開催できませんでした。 >

体に関する健康管理は、食事、運動と皆さん承知をされているところですが、しかし、今日は、いろんな情報が簡単に手に入り、惑わされたり不安になったりと、それに伴い、心の安らぎ、脳の休息が無くなっていませんか。
『 ストレスは万病のもと 』

健康診断実施状況

受診率



- 受診した
- 受診できなかった

- ◇ 受診者は895人(94.9%)でした。
- ◇ 管理は我々の十八番です。良い仕事をする為にも。

◇ 『 目ざそう 自己管理 目標100% 』

私の CSR（会員個人の取り組み）

コロナワクチン接種への補助活動 （滋賀支部会員）

令和3年7月～8月にかけて、コロナワクチンの接種が近江八幡市のヴォーリス記念病院と安土マリエート体育館で行われました。

私は、赤十字奉仕団の男性部に入っていましたので、参加協力しました。当日の朝一番に医療従事者や市役所職員・ボランティアなどが一堂に会してミーティングがあり私たちは、安土マリエート会場の入り口にて、来場される方々の案内や手指消毒を行っていました。

来場される方々は、男女・年齢・要介護者など様々で受付までの補助や送迎者との調整などいろいろなことを行っていました。



発電機を使用しない蓄電池等の利用 (大阪南支部会員)

従来 年次点検、夜間の作業あるいは設備更新等の作業の際はガソリン燃料の発電機を使用していました。しかし昨今は蓄電池やLED等充電照明の利用が多くなっています。

南支部 浪速地区の某会員は早くから発電機を使用しないこの蓄電池等を利用する方法に取り組んできました。

これにより以下のようなメリットがあります。

- 発電機を使用しないためガソリンを使用せず現地で排気ガスや騒音を気にせず作業ができる。
- 発電機からの引火事故も無くなる。また購入後のガソリンの保管リスクもなくなる。
- 最近ガソリン価格が高騰しており出来るだけ使用しないことで経済的である。
- 排気ガスを出さないことで環境にも良い。
- 作業照明をLED等充電照明にすることで電工ドラム、延長コードの配線をなくことができ作業床等がスッキリし、つまずき等による点灯事故も防ぐことができるので安全面でも効果がある。

このような小さな工夫の積み重ねが、協会にとって企業価値や信頼性を高めるために大切と考えております。



和歌山支部会員のCSR活動（個人の取り組み）

和歌山支部は、CSR活動に関して個人で実施している草の根の活動を報告します。

小学校校内外灯清掃

管理している小学校の校内外灯が点灯するものの、経年によりほこりやススで暗いため、高所作業車を持っている友人の工事業者に頼んだら快く了解してくれたので、清掃しました。教頭は明るくなったと大変喜んでくれました。

大阪地裁/高裁所属の電気専門員として専門分野の解説・助言活動

裁判官には電気などの専門知識が無いことから専門性が争われる訴訟において分かりやすく説明する役割を担っています。裁判準備の中で要請に応じて解説、助言を行っています。

少年少女発明クラブ指導員としての活動

田辺市教育委員会がサポートする「田辺市少年少女発明クラブ」は、田辺市内の小学4年生から6年生を対象に、小学校以外の場所で、自然観察や工作実習を行っています。私は、その講座の指導員として小学生の体験学習の補佐を行っています。

7/11（日）ロボット製作体験の補佐を行いました。（小学生30人）

UNHCR 支援活動のための寄付

国連が運営している、紛争や迫害により難民となった人々の命を守るUNHCRの支援活動に随時寄付を行っています。今後もできる限り、続けたいと考えています。

節電商法機器の設置助言

低圧回路に接続することにより最大15%の電力量節約効果を謳った機器の売込みで契約までさせられた顧客から相談があり、当該機器の評価結果を説明した結果、解約に至りました。

「レイキヒーリング」で社会貢献（奈良支部会員）

先ず、「レイキヒーリング」のレイキとは、宇宙には、さまざまな波長のエネルギーが存在していますが、レイキは「すべてを調和に導くエネルギー」で、人の高い意識と共振する高次元波動です。レイキの活用法を「レイキ法」と言い、ハンドヒーリング（手当療法）からスタートし、精神性向上に活用して、「安らかで豊かな人生」をめざします。

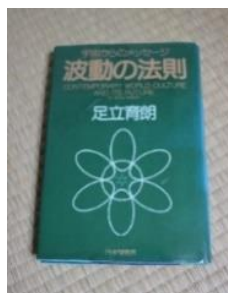
レイキの技法を身に付ける前に、その下地は36歳の時からありました。仕事のストレスで病気になり1年間休職した時、これから楽しい人生を送るために、色々な事を学びました。その中の一つが吉本伊信（1916-1988）師の直伝の「内観療法」でレイキの下地が出来ました。今一つは「波動の法則」（足立育朗著、PHP出版）を身に付ける事でした。それは「良いと思った事を直ちに決心し、実行に移す事」です。私が実際にレイキの技法を身に付けたのは58歳の時、1年かけてレイキの師匠に付いて修得しました。

レイキヒーリングを修得してから、数々の「癒しイベント」に出展して幾多の人々に施術して、技を磨き、それからレイキヒーリングで日本全国行脚の決意をしました。ネットを使い、北は北海道から南は鹿児島まで、レイキヒーリングで癒しを求める人々に施術をしました。施術だけではなく、技法の伝授も実施しました。数えた事はありませんが、施術した人々の人数は5000人位、技法伝授は100人位です。

人々が「レイキヒーリング」の施術で幸せになるのを目の当たりにして、この活動に大きな喜びを得る事が出来、また「レイキヒーリング」で社会貢献の達成感を得ました。これからも「レイキヒーリング」をライフワークとして社会貢献を続けて行きます。



「内観療法」



「波動の法則」



「レイキヒーリング」の実施（2017/12/9 東京）